

授業科目名	コーチングの哲学と倫理	
科目番号	02ER004	
単位数	1.0単位	
標準履修年次	1年次	
時間割	筑波:春AB、鹿屋:前期、月曜5限	
担当教員	河合季信 ほか	
授業概要	コーチの仕事と求められる資質および能力を理解するとともに、コーチング実践の根幹となる哲学と倫理について学習し、これからの時代にふさわしいコーチングを創造していく能力を養成する。また、授業を通してコーチングに関する哲学および倫理について深く論考し、それらを報告し議論させることを通して、コーチとしての自らの倫理観や哲学観、視座を明確にする。	
備考	筑波大学開講	
授業形態	講義	
学習目標	自らのコーチングを省察し、新しい時代にふさわしいコーチングを創造できる能力を身に付けさせ、国際的に活躍するコーチ、社会のリーダー的存在となるコーチ、コーチを教育できるコーチング系の大学教員の育成を目指す。	
授業計画	1.コーチが有すべき指導哲学および指導倫理 2.コーチングとフェアプレー(4/24) 3.コーチングと人権(5/8) 4.コーチングと暴力・体罰(5/15) 5.コーチングとハラスメント(5/22) 6.コーチングとドーピング・薬物乱用(5/29) 7.コーチングと事故防止・安全対策(6/5:6時間目) 8.新しい時代に求められるコーチング(6/12) トップスポーツにおける「インテグリティ」と「コンピテンシー」の視点から 9.新しい時代にふさわしいコーチングを議論する1(6/19) 10.新しい時代にふさわしいコーチングを議論する2(6/26)	河合季信 深澤浩洋(体育科学) 齋藤健司(体育科学) 山口 香 本間三和子(体育科学) 浅川 伸(JADA) 向井直樹(スポーツ医学) 勝田 隆(HPC:JISS+NTC) コーチング学専攻教員 コーチング学専攻教員
履修条件		
評価方法	発表および議論への取り組み、内容を総合的に評価する。	
教科書	なし	
参考書	なし	
オフィスアワー		